

いのちを守るカフェ@盛岡

市民と国会議員川田龍平さんとの交流会

川田龍平



1976年東京都小平市生まれ。東京経済大学卒。政府の情報隠蔽により危険な輸入血液製剤使用でHIVウイルスに感染。19歳で実名を公表し「薬害エイズ裁判」原告となり、歴史的和解を勝ち取る。

2007年参議院東京選挙区にて当選、現在3期目。

「いのちを守る国へ」をスローガンに、厚生労働委員、東日本大震災復興特別委員、農水委員、国民生活・経済に関する調査会会長、行政監視委員長、国際経済・外交に関する調査会筆頭理事などを歴任。現在は、立憲民主党両院議員総会長、厚生労働委員会筆頭理事、消費者特別委員会筆頭理事、ネクスト厚生労働副大臣、ネクスト消費者担当大臣を務める。

「東京電力福島原発事故子ども被災者支援法」「臨床研究法」「手話言語法」「動物愛護法」「成育医療基本法」「在来種・ローカルフード育成法案」など、いのちを守る多くの法案に尽力。岩手医科大学客員教授。趣味はトランペットと神社巡り。

家族は、妻(国際ジャーナリストの堤未果)と猫(ロシアンブルー2匹)。

日時 10月24日(火) 15:30~17:00

場所 アイーナ7階小田島組☆ほ〜る

参加費 無料

「いのちが最優先される社会の実現を」 川田議員のお話(30分)

- ローカルフード法はタネの基本法
- 日本でタネを作れなくなっている
- 特に危ないのは大豆
- ローカルフード法を作ろう
- 日本の品種開発の現状
- 法律の概要
- 地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案(仮称)骨子案

その後フリートーク

主催 三陸の海を放射能から守る岩手の会